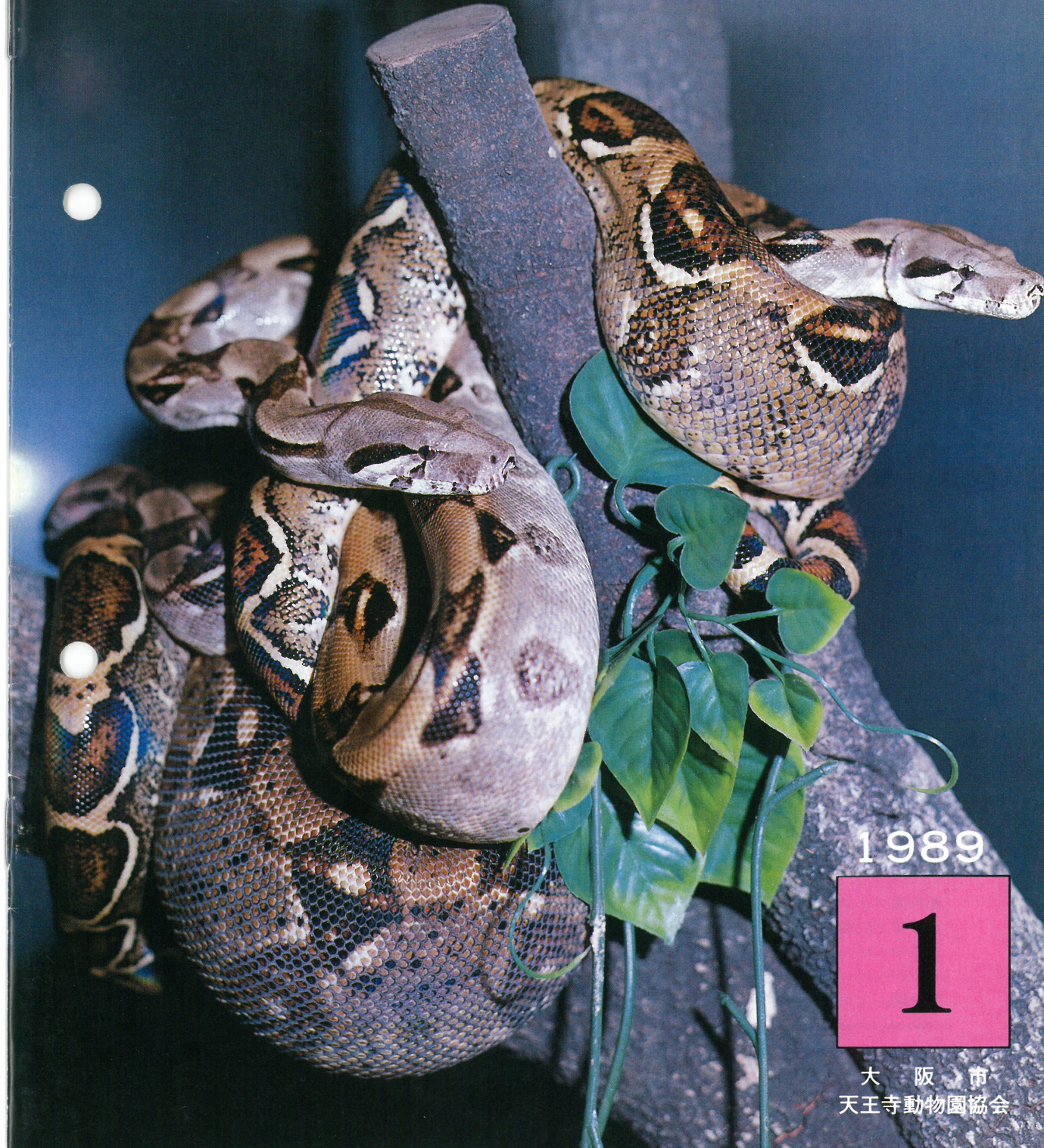




なきごえ



1989

1

大阪市
天王寺動物園協会

建設局長 橋本 固



明けましておめでとうございます。皆様方には、よき新春をお迎えになられたこととおよろこび申し上げます。

歴史と伝統を誇る天王寺動物園は本年、開園して74

年目を迎えますが、この間、憩いの場として、また教育の場として多くの市民に利用され親しまれてきました。

開園当初、約60種230点でありました動物の数も、今では330種1200点を越えるまでになり、東京の上野動物園と並んで世界に誇る大動物園になっています。しかし、ここに至るまでには動物にとっても職員にとってもいろいろな事があったことと思います。

10数年前、私が動物舎の設計を担当しておりました頃の事ですが、ゴリラ舎の運動場の床を少し下げるか、フェンスを高くするかして欲しいという要望が動物園から上がりました。聞けばゴリラが人に近づこうと1頭の身長では届かないところを夫婦で肩車をして見物客にご挨拶するとのことでした。担当者一同、爆笑もしましたが、なにぶんにも動物が動物で危険なものですから真剣に検討すべき課題でもありました。

私には動物心理の難しいことは判りませんが、哺乳類、鳥類を問わず多くの人から眺められた場合、如何にうまく双方のフィーリングを交錯させるか、ということに設計を担当する者は心を砕く必要があるような気がします。こういった意味から、一昨年の天王寺博覧会開催時には各種の鳥が自由に飛べる

バードケージ「鳥の楽園」を完成させましたし、昨春にはヒョウ舎を従来のオリ形式から、全国に先駆け、ガラス張りの動物舎としました。このような施策は教育効果の上でも大きなメリットがあります。

どなたでも幼少の頃、動物園に連れて行ってもらったことをなつかしく思い出されることがおありかと存じますが、動物との密なるふれあいは人間の成長過程においてはなくてはならない大切なものがあります。

天王寺博覧会以後、当地域は再開発事業の進展、百貨店の増改築、天王寺駅周辺の発展等もあり、活性化の一途をたどっています。天王寺公園も昭和68年春に関西新空港が開港した際には南の玄関口にある重要な公園になります。そこで今迄のイメージから脱却した、楽しく、明るく、多くの市民が集まる公園にすべく現在、事業を進めているところでございまして、この公園の半分を占める動物園の果たす役割はまことに大なるものがあります。このためには公園施設とも整合性を持った、市民にとって入りやすい、見やすい、教育施設としてもためになる動物園とすべきで、今後増加が予想される入園者に対しては、園内はもとより、周辺駅からの判りやすい案内システム、案内情報板等を整備することが重要であると考えます。

都市型動物園の代表として天王寺動物園が今後一層市民に愛され、ますます発展する事を願っておりますが、それには私共がまず動物愛護精神を忘れずに動物に暖かく接する事が大切であると考え次第です。

最後になりましたが、日頃から園の発展のため御力添えをいただいております皆様に心から御礼申し上げますとともに、日夜、動物と接して下さっている職員の御苦勞に感謝申し上げます、新年のご挨拶といたします。

なぎごえ1月号もくじ

新年のごあいさつ..... 2
“こんなに大きくなりました”..... 3
動物園グラフ・動物園日記..... 4・5
巳の郷土玩具..... 6・7
日本のヘビ..... 8・9
キーパーズ・アイ46..... 10
動物園ニュース.....11

表紙の写真説明

ボアコンストリクター

Boa constrictor

巳年の1月号はボアに飾ってもらいました。中米から南米のジャングルやサバンナに住んでいます。コンストリクターとは“締めるもの”という意味でとてもへびらしい感じですが、性質は温和でペットになることも多いへびです。

(撮影：大野 尊信)



“こんなに大きくなりました”

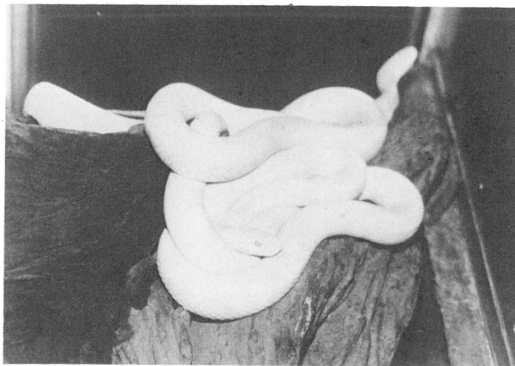
昨年6月10日に生まれたマンドリルの赤ちゃんは順調に育ち、母親から離れておてんばぶりを見せています。女の子ですから将来が楽しみです。

(撮影：樽本 勲)

動物園グラフ

“巳年のへびたち”

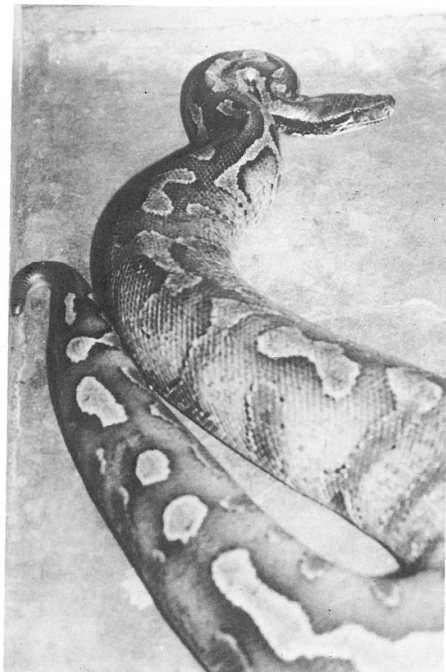
今年のエトは巳です。そこで天王寺動物園で飼われているへびたちをスナップしてみました。
(撮影：大野 尊信)



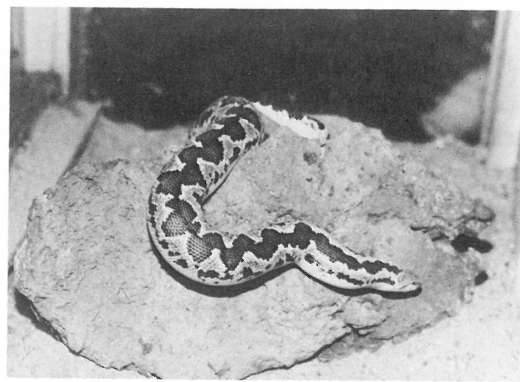
白いへびですが、名前はクロネズミへび、矛盾するようですが、これは白化した個体です。



人によく慣れているアカダイショウは人気物です。



ヒイロニシキへびは尾が極端に短いのが特徴です。



コクススナボアは砂の中が生活の場所です。

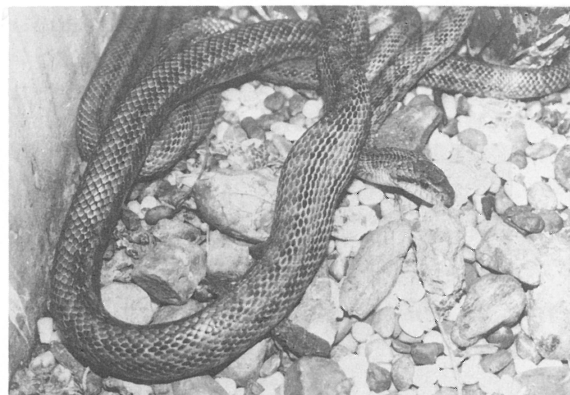
なきごえ25(1),1989

10・11月の動物園日記

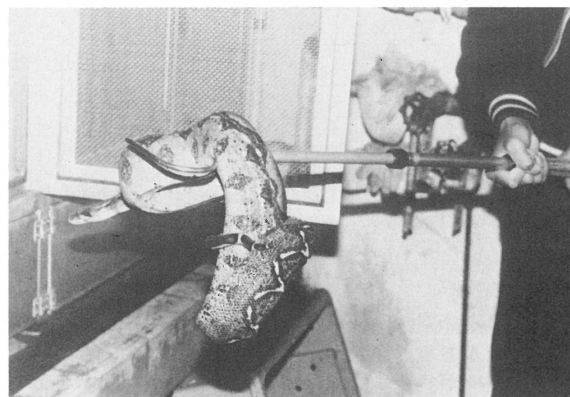
- 10/29. フクロギツネの袋（育児のう）の中にいる子供の顔を初めて確認しました。
- 10/30. レクチャールームにて映画会「秘境トラの王国」を開催しました。
- 11/1. センダイムシクイを1羽保護しました。バードケージ“鳥の楽園”では繁殖行動のためか、ロウバシガンがタンチョウと闘争するため隔離しました。
- 11/2. シシオザルが交尾しました。
- 11/3. 宝塚動植物園からパタスザルのオス1頭の

- 寄贈を受けました。
- 11/4. 保護され元気を回復したアオサギを放鳥しました。
- 11/5. 本年生まれのキジのヒナにワクチン接種を行いました。
- 11/6. キーウィのメス“キオト”の換羽が始まりました。生後48日となったアメリカバクの子の身体計測を行いました。出生時8kgだった体重が、その3倍の24kgにもなりました。
- 11/8. 本年生まれのカリフォルニアアシカの子の体重測定を実施しました。

なきごえ25(1),1989



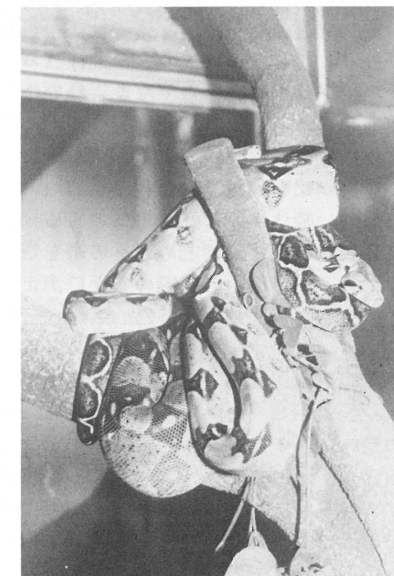
アオダイショウが食べ物をのみこんだ直後です。お腹が少しふくらんでいるのがわかりますか？



へびの移動はこのようなフックを使います。(ボアコンストリクター)



インドニシキへびの脱皮。こんなに見事に脱皮できるのは健康な証拠です。



さて、何頭いるでしょうか。(ボアコンストリクター)

- 11/10. マントビビの赤ちゃんが1頭生まれました。
- 11/11. オオミズナギドリを1羽保護しました。
- 11/13. アメリカバクが交尾しました。
- 11/16. マクジャクのヒナの右足の指が曲っているため矯正治療をはじめました。
- 11/17. 血液更新のため、カリフォルニアアシカのメス同士を王子動物園と交換しました。
- 11/20. 第43回動物のお話とスライドの会「ホッキョクグマ“こゆき”の一年」を開催しました。ボランティア例会で「夜の動物園見学会」

- を行いました。
- 11/22. キーウィの体重測定を行いました。
- 11/23. エランドのオスが1頭生まれました。
- 11/24. コウノトリ保護増殖対策会議に当園より1名出席しました。
- 11/25. サイ舎の暖房を開始しました。
- 11/26. ヨタカを1羽保護しました。
- 11/27. タヌキを1頭保護しました。チュウゴクオオカミが交尾しました。
- 11/28. 昨日保護したタヌキが検査の結果、骨折していたので、治療を行いません。

平田 嘉一

△今年は十二支六番目の巳歳。蛇のことを巳(み)という。蛇は世界中に広く分布し、その種類も多く蛇にまつわる伝説も多い。だが、細長い体を不気味なウロコで包み、ふいと出くわしたとき、背筋の寒くなる思いがする。しかしこうした恐怖感の一方では、崇拜というかたちをとり、古来より福の神として庶民の信仰が厚い。蛇は弁財天のお使といわれ、弁財天に蛇を配したものがみられる。元来、蛇は池、沼など水辺に住み、水の神、山の神ともいわれ嵐などねらって田畑や家の天井裏、倉庫や物置などに出没することから穀物、宝物の番人としての性格から信仰の対象物となった。巳成金の信仰で代表される金運は、宝珠や小判をいただく白蛇の姿を作った。△蛇が美男や、美女に化けて人間と夫婦になった伝説などがある。安珍清姫の物語に清姫が大蛇になって、日高川を渡る伝説や、小説に、蛇姫さまなどがあって面白い。

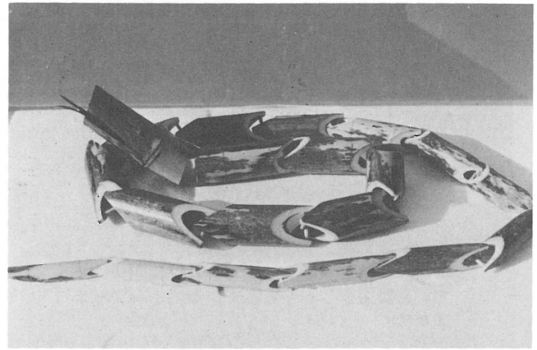
△大和の三輪明神に、古くから蛇にまつわる物語が伝わっている。これは御祭神の大神主神(おおものぬしのかみ)が活玉依姫(いくたまよりひめ)のもとへ毎夜通われたという。活玉依姫は河内の陶都耳命(とうのみみこと)の娘で、美人であった。ある日、立派な男が家を訪れて来た。色々面白い話などをしたという。姫はついに妊娠した。ある夜、長い麻糸を男の着物の袖に針でとめ、その糸をたどって後をつけて行くと、山中の社殿のなかに消えたとい、その美男が蛇の化神であった。これが三輪の神婚伝説である。

△古い神話にも素盞鳴尊(すさのをのみこと)が、八咫の大蛇を退治した有名な神話がある。これは出雲の国の簸の川のほとりに、足名椎(あしなつち)という翁媼が住んでいたが、毎年恐ろしい八咫の大蛇が来て、娘を一人づつ食い、八人目の最後の娘である櫛稲田姫(くしいなだひめ)が素盞鳴尊に助けられたという伝説である。

△京都の年中行事で知られる「鞍馬の竹切」は、毎年六月二十日に行なわれる。寺伝によれば、延喜年間、峯延という和尚が護摩秘法を修していると、北山より雌雄の大蛇があらわれた。目は雷の如く煌とかがやき、火焰のような舌を出して、和尚を呑まんとしたが和尚が大威徳の呪を誦すると一匹が倒れたので、多勢の人夫で大蛇を段々に斬って大虫の峯に捨てたが、残った雌蛇を助け、「鞍馬には水が乏しい故、今後は水を施せよ」と命じたので清泉を涌せたという。今ある關伽井(あかい)はそれであると。以来、毎年竹を雌雄の蛇にして、これを伐る行事を「鞍馬の竹伐」という。

△郷土玩具竹の十二支干支歳守り、手づくり「匠竹馬居」工房の木村勝美氏。京都の銘竹伝統に育ま

れた竹のもつ美しき、魅力にとりつかれて十六年。全国で唯一人ユニークな竹を素材とした手づくりの個性派、竹絵馬研究作家である。彼は二年前から竹の十二支エト作りにとりくみ竹絵馬に次ぐ創作パート2が誕生した。作品は、豊かな感性と巧みな手細工で、竹の木っ端に生命を吹きこみ十二支エト動物たちに甦らせたのである。



木村勝美氏の竹蛇

△南山城に、蟹満寺(かにまんじ)という真言宗の寺がある。その伝記によると、昔この里に慈悲深い娘がいた。ある日子供たちが一匹の蟹をとらえていたためいたので、あわれに思い、その蟹を助けたという。ところが娘の父親がある日、道傍で蛙をのうとする蛇をみて、蛙を救うため自分の娘をやると約束した。するとその夜、蛇が美男に化けて娘を迎えに来たので娘は恐ろしさのあまり、只一心に観音経を唱えていた。その翌朝戸を開けてみると、無数の蟹にその蛇がかみ殺されていた。これは蛇蟹合戦の物語でもある。

△京都御所の外苑に「池の弁天さん」という厳島神社がある。弁天さんは七福神のなかで、ただ一人の女性で、左手に琵琶をもち、右手で弹奏する姿であり、芸能福德の神として信仰をあつめているが、ご正体は白蛇だということである。弁財天の同体異名を宇賀神ともいい、この神様が蛇体なのである。琵琶湖の竹生島や、京都伏見中書島の長建寺にも弁財天が祀られ、珍しいお守りが授与されている。

△芝居や能狂言などで知られた道成寺の主人公も女性である。昔、二人の僧が熊野詣りに出かけた。一人は老僧で、一人は若い美しい僧であった。紀伊国(和歌山)に来たとき、ある庄屋に宿をかりた。その家の娘がその若僧を慕って、いいよったが僧は修行の身として帰途に立寄るよう約したが、道を変え逃げ去ったので娘は大蛇となって日高川を渡って僧の後を追った。僧は道成寺にかけこみ助けを求めて釣鐘のなかにかくれた。大蛇は鐘のまわりに巻きつき、血の涙を流しながら、身もだえるように尾をうちつけているが、やがて、あきらめどこかに去ってしまう。鐘をとりのけると、なかには僧の姿はなく、わ

ずかな灰だけが残っていた。これが世にいう道成寺の安珍清姫の悲恋物語である。

△さて日本の郷土玩具の蛇は、このように多くの伝説に登場しながら、それをテーマにしたものが少ないのに驚く、やはり「気味が悪い一般受けしない動物」とされている。この蛇を、おもちゃにするのは不向きで、細長く、四肢、鱗、耳はなく、舌は細く、先端は二つに分かれていて始末の悪い形である。△郷土玩具の干支には不作の年である。十二支が一組で作られている各地の作品から蛇を抜き出してみると、ほとんどがとぐろを巻いた白蛇である。これは、蛇のとぐろを巻いているのをみると吉兆があるといわれているからで、また小判をくわえたものや、宝珠を頭に乘せた欲ばった蛇もある。さらに、蛇は弁天さまの神使といわれているので、弁財天に蛇を配したものがみられる。

△京都伏見人形の蛇、白蛇が金の宝珠をだきとぐろを巻いているものや、二匹の夫婦蛇が金色の宝珠を中心に仲良く巻きついているグロテスクなものもある。いづれもおもちゃでなく、巳さん信仰の人々が、



小幡道成寺清姫と白蛇

この蛇を神棚に祀る。伏見人形には型もののほかに手ひねりで作ることもある。同じ京都で作られているものに、張子の蛇がある。これは、小判をくわえた縁起のよいもので愛くるしい顔をしている。

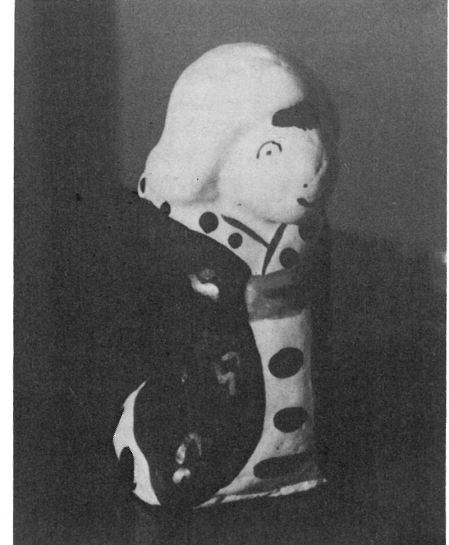
△大阪住吉の巳さん 小型の白蛇で頭に金の宝珠をのせたもの。神棚に祀られる。

△滋賀県小幡人形の道成寺清姫と蛇 前記、紀伊国(和歌山県)道成寺にまつわる女の執念の伝説を郷土玩具に仕立てたもの。白蛇が釣鐘上に小さく巻きついている。これは舞踊の娘道成寺の白拍子(しらびょうし)である。

△神奈川県大山の竹蛇 昭和五十二年、年賀切手の図案に採用されたもの。竹を輪切り口にし、針金で細長くつないだもので、これをもつと、くねくねと蛇のように動き面白い。大山の阿夫利(あぶり)神社の参道で売られていた。

△島根県出雲今市の張子の蛇 蛇の胴体に松竹梅の模様をえがき、首振りにしたおもちゃで、童心にあ

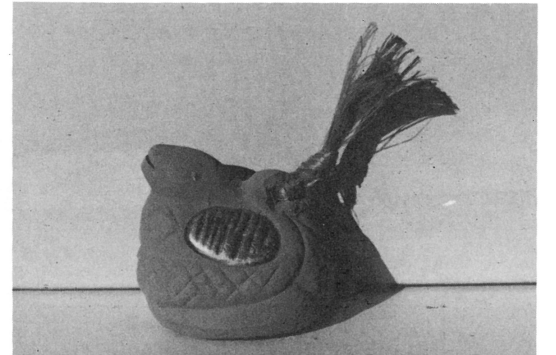
ふれて愛敬がある。毎年、干支にちなんで、めでたい図柄のものが作られている。



花嫁角かくしメス蛇

△鳥取県北条の蛇 今年の巳年にちなみ、異色な蛇を新作した。赤い着物に、頭には白い角隠(つのかくし)をした花嫁姿のメス蛇。巳年のニューフェイスの蛇である。

△栃木県鹿沼のきびがら蛇、鹿沼地方は、古くから箒(ほうき)が盛んに作り出されていることで知られているが、戦後は、このきびを利用した細工物の十二支などが作られるようになった。この蛇は、とぐろを巻いたかわいらしい蛇である。尚、今年の年賀切手のデザインに、同県の郷土玩具である蛇の土鈴が採用されている。



年賀切手モデルの栃木の土鈴

△東京、駒込富士神社の麦わらへび 宝永年間、疫病が流行したさい、土地の喜八という人が麦わらで、蛇を作り、まじないとして売ったのが始まりという。疫病に水はつきものであり、蛇は水の神であることから考案されたものだろう。樹木に蛇の尾がからみついたもので、この蛇を井戸杵(わく)に吊しておくで悪疫除けとなり、台所に吊せば虫害を防ぎ、さらに夏中水に不自由せず、水毒を消すという俗信があつて参詣客に求められた。

(郷土玩具蒐集家・「近畿おもちゃ通信」編集発行人)

本州・四国・九州のヘビ—その発見の歴史

日本のヘビに始めて学名が付き、ヨーロッパ世界へ紹介されたのは、163年前の1826年(文政9年)のことでした。ヤマカガシ・ヒバカリ・シマヘビ・アオダイショウ・ジムグリ・マムシの6種がそれぞれです。出島オランダ商館長(1817~1823年)のブロムホフによって集められたこの標本は、オランダ本国へ送られて国立ライデン博物館へ納められ、館員のボイエが論文にまとめたものでした。ブロムホフの標本は、おそらく長崎付近で採集されたのでしょう。

本州・四国・九州と北海道のヘビは8種ですが、ボイエの報告の後に発見されたのは2種のみです。まず1869年(明治2年)に、ベルリン博物館の標本でタカチホヘビの存在が明らかになりました。1880年(明治13年)には東京大学の雇い教師、ドイツ人ヒルゲンドルフがシロマダラを記載しました。

琉球列島のヘビ

分布図をみると、うえに述べた8種はトカラ海峡(薩南諸島とトカラ列島との間)以南の琉球列島には分布していないことが分ります。シマヘビはトカラ列島の口之島に記録がありますが、ここのシマヘビは薩南諸島の口永良部島から移されたという伝説があるそうです(永井, 1938)。反対に琉球列島に普通にいるメクラヘビが、九州薩摩半島の山川町でみつかっています。雌だけで単為生殖をする小型のヘビで、しばしば農作物の根や植木の土に付いて運ばれるらしく、山川町のも人為分布によるものだろうと考えられます。この2例を除くと、表H(本州・四国・九州・北海道)にすむヘビと、R(琉球列島)にすむヘビは、すっかり入れかわっています。

このような現象がなぜ起こったのか、日本やその

周辺の島々のヘビと対岸の大陸のヘビの種類構成を比べてみると、ヒントが得られるかも知れません。

大陸のヘビ・島側のヘビ—種類構成を比べる

ソビエト沿海州とサハリンのヘビ 沿海州には9種、サハリンには3種のヘビがすみ、サハリンのヘビはすべて沿海州と共通です。国後島を含む北海道のヘビは4種ですが、すべてが本州と共通で、サハリンのヘビとは種類が違います。このことから、サハリンのヘビは沿海州からきたものであり、北海道のヘビは本州側からきたことが分ります。

朝鮮半島と対馬、そして九州のヘビ 朝鮮半島には12種、対馬に3種(アカマダラ・アオダイショウ・マムシ)、九州には8種います。まず、対馬に目を向けてみましょう。アカマダラは朝鮮半島を含む大陸に広く分布するヘビで、日本では対馬だけに見られます。反対にアオダイショウは九州と共通で、大陸側にはいません。対馬のマムシはどうでしょうか。朝鮮半島のタンビマムシは、日本のマムシの別亜種です。対馬のマムシは九州のと同じとされてきたのですが、最近の研究(五十川ほか, 1987)によるとどちらとも違うことが分ってきました。今のところ、亜種が違うだけなのか別種なのか未決定です。次に九州と朝鮮半島のヘビを比べると、3種(ヒバカリ・ヤマカガシ・マムシ)が、それぞれ別亜種ではあるものの双方に分布しています。朝鮮・対馬海峡が陸続きだった頃、互いに交流があったことを示しているようです。タカチホヘビは中国に分布して朝鮮半島にいないので、この地域のヘビの分布経路を単純に考えることはできません。

福建省と台湾、そして琉球列島のヘビ 福建のヘビは72種もあります。台湾には45種がすみ、82%にあたる37種が対岸の福建省と共通で、大陸の影響が

日本の陸生ヘビ—覧 (1988年10月現在の既知種)

Typhlopidae メクラヘビ科		16 <i>Lycodon ruhstrati multifasciatus</i> サキシマバイカダ R-2.	
1 <i>Ramphotyphlops braminus</i>	メクラヘビ To, R-1, -2, Og.	17 <i>Calamaria pavementata miyarai</i> ミヤラヒメヘビ R-2.	
Colubridae ヘビ科		18 <i>Calamaria pfefferi</i> ヒメヘビ R-1, -2.	
2 <i>Pareas iwasakii</i>	イワサキセダカヘビ R-2.	19 <i>Natrix vibakari</i> ヒバカリ	
3 <i>Achalinus spinalis</i>	タカチホヘビ H.	19a <i>N. v. vibakari</i> ヒバカリ H.	
4 <i>Achalinus werneri</i>	アマミタカチホヘビ R-1.	19b <i>N. v. danjoensis</i> ダンジョヒバカリ H(男女)	
5 <i>Elaphe quadrivirgata</i>	シマヘビ To, H.	20 <i>Natrix pryeri</i> ガラスヒバ	
6 <i>Elaphe conspicillata</i>	ジムグリ H.	20a <i>N. p. pryeri</i> ガラスヒバ R-1.	
7 <i>Elaphe taeniura schmackeri</i>	サキシマズジョ R-2.	20b <i>N. p. ishigakiensis</i> ヤエヤマヒバ R-2.	
8 <i>Elaphe carinata</i>	シュウダ	21 <i>Rhabdophis tigrinus</i> ヤマカガシ H.	
8a <i>E. c. carinata</i>	シュウダ R-2(尖閣)	Elaphidae コブラ科	
8b <i>E. c. yonaguniensis</i>	ヨナグニシュウダ R-2(与那国).	22 <i>Calliophis macclellandii iwasakii</i> イワサキワモンベニヘビ R-2.	
9 <i>Elaphe climacophora</i>	アオダイショウ H.	23 <i>Calliophis japonicus</i> ヒヤン	
10 <i>Ophedryus semicarinatus</i>	リュウキュウアオヘビ To, R-1.	23a <i>C. j. japonicus</i> ヒヤン R-1(奄美)	
11 <i>Ophedryus herminae</i>	サキシマアオヘビ R-2.	23b <i>C. j. boettgeri</i> ハイ R-1(沖縄)	
12 <i>Opisthotropis kikuzatoi</i>	キクザトサワヘビ R-1.	Viperidae クサリヘビ科	
13 <i>Dinodon semicarinatus</i>	アカマダラ R-1.	24 <i>Agkistrodon blomhoffii blomhoffii</i> マムシ H.	
14 <i>Dinodon rufozonatus</i>	アカマダラ	25 <i>Trimeresurus okinawensis</i> ヒメハブ R-1.	
14a <i>D. r. rufozonatus</i>	アカマダラ Ts.	26 <i>Trimeresurus elegans</i> サキシマハブ R-2.	
14b <i>D. r. walli</i>	サキシママダラ R-2.	27 <i>Trimeresurus flavoviridis</i> ハブ R-1.	
15 <i>Dinodon orientalis</i>	シロマダラ H.	28 <i>Trimeresurus tokarensis</i> トカラハブ To.	

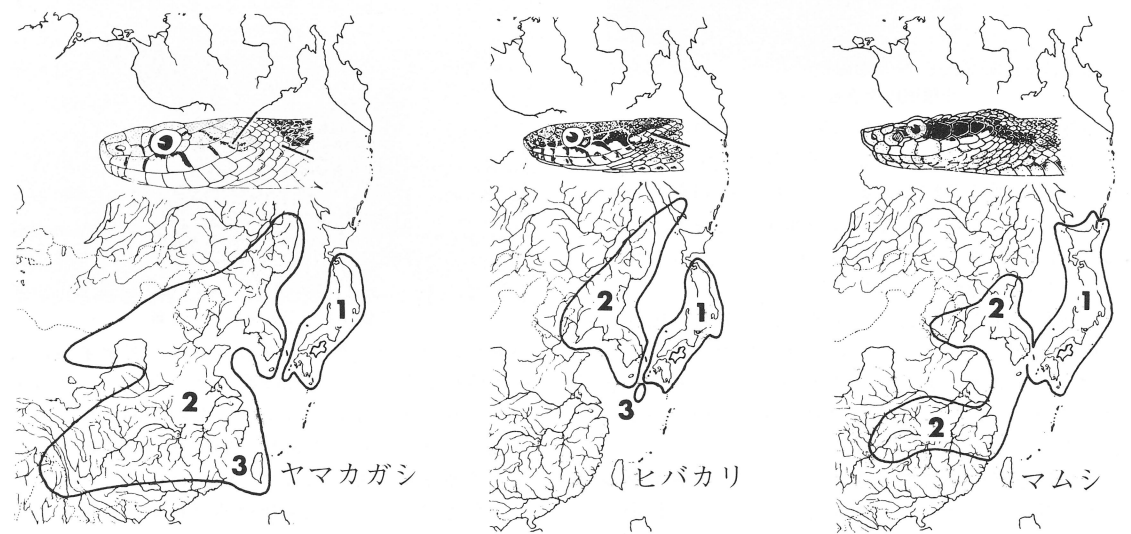
H: 北海道・本州・四国・九州, Ts: 対馬, To: トカラ列島, R-1: 奄美群島・沖縄群島, R-2: 宮古群島・八重山群島, Og: 小笠原諸島.

色濃く現れています。琉球列島の20種のうち、40%の8種は台湾と共通です。しかも共通種のほとんどが台湾に近い八重山諸島にいて、台湾や大陸の影響が感じられます。奄美・沖縄諸島にはハブやアカマダラのような固有種がみられ、久米島特産のキクザトサワヘビのように、福建などには近縁種がいるのに台湾には同属のヘビさえいないものもあります。

日本のヘビ ヘビからみた日本は九州以北と琉球列島とに大きく別けられ、両地域に交流が無かったことが分りま

す。九州以北のヘビは、過去の時代に今の中国大陸の中部~朝鮮半島にかけての地域から分布してきたと思われ、半数の4種は固有種になっています。琉球列島のヘビは台湾や中国南部と関係が深く、特に八重山諸島でその直接的な影響が今も残っているようです。一方、奄美・沖縄諸島には固有種も多いので、琉球列島の地史と結びつく大陸側からの古い分布の波が、何度かこの地へ及んだものと思われる。

(大阪市立自然史博物館)



ヤマカガシの3亜種

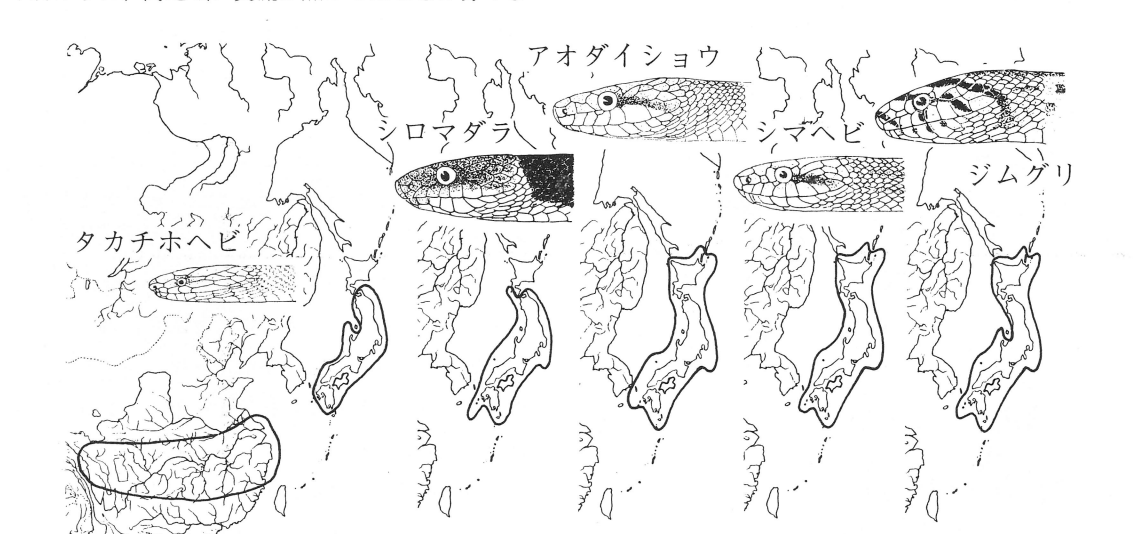
- 1 ヤマカガシ
- 2 タイリクヤマカガシ
- 3 タイワンヤマカガシ (台湾の高地)

ヒバカリの3亜種

- 1 ヒバカリ
- 2 タイリクヒバカリ
- 3 ダンジョヒバカリ (男女群島女島)

マムシの2亜種

- 1 マムシ
- 2 タンビマムシ (対馬のマムシは仮に1にいた)



タカチホヘビ

佐渡・隠岐・対馬・五島・種子島・屋久島の記録がない。大陸と同種とされているが、比較検討はされていない。

シロマダラ

北海道奥尻島・男女群島の女島からも知られる。対馬にはいない。

アオダイショウ

国後島・対馬にいる。シマヘビ 国後島からも知られる。対馬にはいない。

ジムグリ

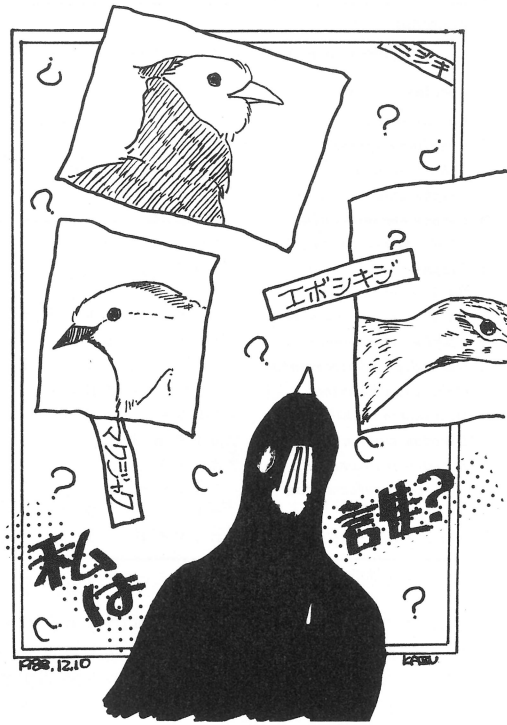
国後島にいるが、佐渡からの記録なし。対馬にはいない。

☆ 名無しのゴンベイ達

キジ舎に今年生まれのヒナ達を集めた部屋があります。種類名を書こうと思うのですが、何種類もが雑居しているため、種類名だけを書いても区別がつきにくいし、どうしようかと考えながらどんどん日が過ぎていきました。

しかし、ちょうど運悪く部屋のすぐ前の植込みの中に“リュウノヒゲ”という看板が立っているのです。もちろんこれは植えている草の名前なのですが、先日ある親子づれの方が、この部屋の前を通りかかって、ミミキジのヒナを見て「わあ、この鳥“リュウノヒゲ”っていうねんて、ホンマに立派なヒゲしてるわ。」と言ってるのを聞きました。確かにミミキジには立派なヒゲがあり、この様な誤解があっても仕方ないところです。これも全て担当者である私のせい、今後皆さんにわかりやすい展示を心がけます、と心から反省しております。

(飼育課：早川 篤)



(イラスト：本阪 恵子)

☆ 春よ来い



(イラスト：中村 尚美)

冬場の水仕事で手がカサカサ、赤切れで困っている方も多いと思います。

動物園のチンパンジー達も毎年11月から3月頃まで指先に赤切れができてしまいます。特に5才のリックや4才のミナミが目立ちます。別に人間の様に台所仕事をするわけではないのですが、日中コンクリートと土の運動場で遊んでいるので仕方ありません。

赤切れができるのは毎年同じ所で、手は指の先とこぶし、足は指先とかかとのにできます。痛いだろうなと思ひながら、毎日、午前と午後のエサの時間に薬をすり込んでやっています。毎年秋になると赤切れやヒビ割れができないように、早くから薬を塗ってやっていますが、どうしても冬になると赤切れやヒビ割れができてしまいます。毎日2回薬を塗ってやりながら、早く春になってくれないかなあと願うこの頃です。

(飼育課：芝野 利夫)

動物園ニュース

§ エランド誕生

例年あまり出産動物のない11月に入って、エランドが生まれました。

エランドは11月23日に生まれ、性別はオスでした。母親の“レオ”は今回が4産目で、昨年1月24日に次いで2回目の出産です。折からの寒さにもかかわらず、赤ちゃんエランドは順調に成長しています。



§ パタスザル、宝塚動植物園より来園

11月3日、パタスザルのオスが宝塚動植物園から来園しました。当園では昨年の9月にオスが急死したためオスを捜していたところ、今回、宝塚動植物園のご好意で来園が決まりました。

来園したオスの“メイ”は宝塚動植物園で、昭和60年10月13日に生まれた3歳のまだ若いサルです。当園のメスは昭和44年に福岡県の大牟田市動物園で生まれ、昭和55年に来園したものですので、高齢であり繁殖は困難かもしれませんが、なんとか2世を誕生させたいものです。現在、動物病院で検疫中ですので、お目見えはしばらく先になりそうです。

§ 王子動物園との動物交換

神戸市立王子動物園と2件の動物交換を行いました。11月5日に王子動物園からミミキジのオスが来園し、当園から昨年生まれのベニジュケイのメスが出園しました。ミミキジは昨年初めて人工ふ化に成功しましたが、残念なことに6月にオスが死亡しています。来園したのは王子動物園で一昨年繁殖したものですので、今年の繁殖も期待できそうです。

また、11月17日にはカリフォルニアアシカのメス同士の交換を行いました。来園したのは一昨年6月24日に王子動物園で生まれた“フジゴ”で、王子動物園に送ったのは当園で昭和61年の6月19日に生まれた“サトミ”です。

動物園では種の保存のために近親繁殖を避ける努力をしており、今回の血縁関係のない2頭のメスの交換が実現しました。

.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....

現在の飼育動物数

（昭和63年11月30日現在）			
哺乳類	13目	105種	457点
鳥類	20目	197種	673点
爬虫類	3目	34種	86点
合計	36目	336種	1,216点

§ 動物のカード展開催

11月7日から12月5日まで、北園展示館で日本の動物園と水族館59園107点のパンフレットや絵はがきなどを集め展示しました。また、同時にアマチュア無線で発信時に交換しているQSLカードで動物や植物に関するもの117点も合わせて展示しました。



§ イラスト募集、入選作決まる

10月1日から11月6日まで募集した動物のイラストの入選作が決定しました。

13歳から66歳まで44人66点の応募作品の中から、大阪市長賞には東住吉区のグラフィックデザイナー奥永太郎さん(52歳)の「オーイここだよ!」(キウイとミミズ)、「笑いカワセミ」、「遊びましょ!」(コアラの親子と毛虫)、「フラワースネーク」(空想のヘビ)の4点の組作品が決定しました。ユーモアにあふれた動物たちはプロらしいタッチで描かれたたいへんかわいい作品です。



大阪市長賞

また、建設局長賞に旭区の平井美代子さん、天王寺動物園長賞に堺市の山田ほずみさん、天王寺動物園協会長賞に茨木市の赤木美津子さん、特別賞に茨木市の藤井裕三さんの作品がそれぞれ選ばれたほか入選4点、佳作9点が決定しました。

●お知らせ

巳年にちなむ郷土玩具展開催
恒例のエトにちなむ郷土玩具展は1月2日から31日まで北園展示館で開催します。ヘビの郷土玩具70点のほか十二支にちなむ郷土玩具約320点も合わせて展示します。

テレフォンサービス実施中
催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を24時間テレフォンサービスで行っていますのでご利用ください。

電話番号 06-771-9999
動物のお話とスライドの会
1月15日(日) ヘビの話
2月19日(日) パード・ウォッチング
3月19日(日) コアラがやってくる
時間：午後1時～2時
場所：北園レクチャールーム

.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....☆.....
* 休園日のお知らせ *
動物園の休園日は毎月第3月曜日(休日の場合は翌日)です。3月までの休園日は下記のとおりです。
1月17日(火)、2月20日(月)、3月20日(月)、
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売り止めになります。

キップスは便利をかたちにしたカード。

近鉄グループカード
〈キップス〉

会員募集中

KIPPS VISA JCB

◎近鉄百貨店でのお買物が5%割引など、近鉄グループの特典いろいろ。

お問合せとお申込みは各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階●上本町店11階●東大阪店本館●橿原店6階●奈良店4階●西京都店1階●東京店7階

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑 **が一つの本の**
中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光 / 監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしとかいかた

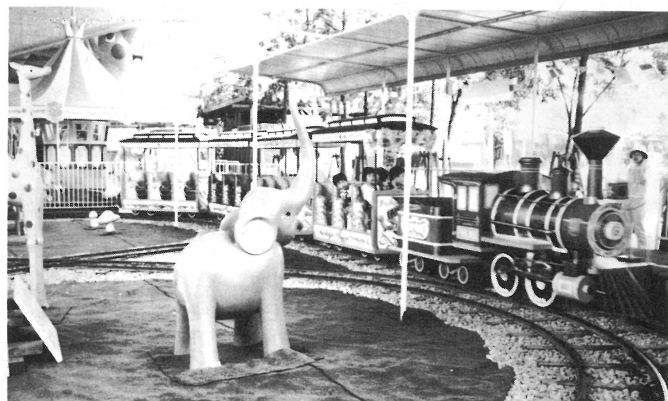
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 **ひかりのくに株式会社** 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりもの、が待っています。



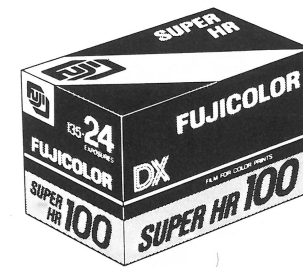
1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06)541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは
頭脳をもった。



高画質時代をリードする

はるかに美しく

フジカラー **SUPER HR**

カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

平岩米吉 著 日本狼の正史ついに完成

改訂六版 **狼—その生態と歴史—**

定価 2,800円
A5判・本文320頁
口絵・挿画等140図

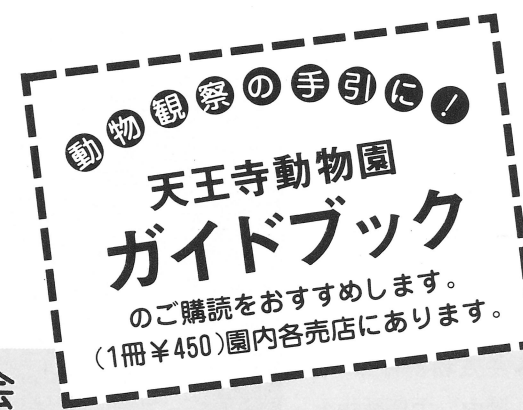
☆犬科動物の研究者として知られる著者が数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の眼をもって描いた空前の書。日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 序章 狼への幻想と現実 | 第一章 犬科の分類と解説 |
| 第二章 犬と狼の関係 家犬の成立 犬と狼の相違点 | 第三章 日本狼の歴史 古代の狼害と狼の神格化 |
| 第四章 狼狩の記録 江戸時代の狼狩り | 第五章 狼の伝説 間違いだらけの狼の姿態 |
| 第六章 日本狼の形態 日本における狼の研究 | 第七章 日本狼の絶滅 最後の日本狼 |
| 終章 狼を飼った人々 秩父宮殿下の狼。著者の飼った狼 | |

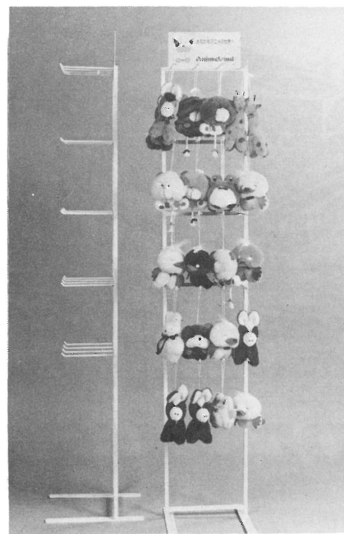
発行 動物文学会 〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659 振替東京 5-9800 発売 池田書店 〒162 東京都新宿区弁天町43番地 電話(03)267-6821 振替東京 2-60072

- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。



大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

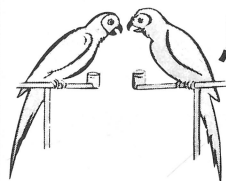


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

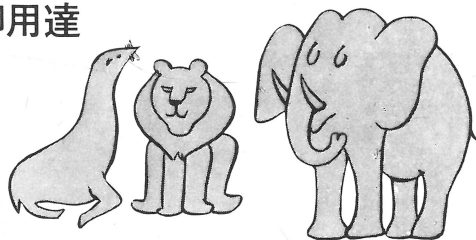
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL : (06) 704-8580
FAX : (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

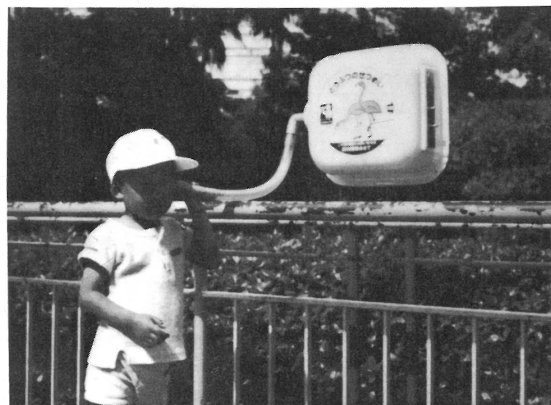


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内

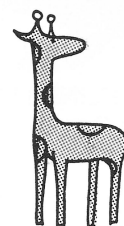


南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

もっとおいしく もっと元気に!... 雪印



雪印ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。
ホワイトを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさにも
ピッタリです。

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問合わせは——
社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201
株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 1989年1月10日発行(毎月10日発行) 第25巻 第1号 (通巻281号)

編集/大阪市天王寺動物園 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗 電話 大阪 (06) 771-0201
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共) 振替口座 大阪 37823
 編集委員 (土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/斉田 尚/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)
 (森本委利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/赤松 建/中垣圭史/大川光雄/山下賢二/土谷正道)